

活動報告

- 活動日時： 2024年1月14日（日）9：30～15：30
- プログラム名：アカマツ林整備作業
- 目的：アカマツの保全、生育促進によるアカマツ群落の形成
- 活動場所：アカマツ林 B～F 地区
- 参加者：16名
- 活動概要：シダ刈り、萌芽枝刈り、広葉樹除伐・材処理

■活動内容

今年初めての活動は晴天に恵まれました。朝は4℃と寒かったものの気温は徐々に上がって、作業中は少し汗ばむほどでしたが気持ちの良い一日でした。参加者も徐々に大勢集まり、準備体操のときから笑い声の聞こえる楽しい雰囲気でのアカマツ林整備活動となりました。

全員で作業場所を確認し、3班に分かれ10時半頃から昼食をはさんで14時40分まで作業を行いました。



I班（5名）はD地区で萌芽枝、ススキ、シダ等をカマ、ノコ、刈込・剪定・枝切バサミを使い分けての刈取り作業。全体が傾斜地で急斜面に取り付いての作業も多く、棘のある植物にも悩まされましたが、藪だった状態がスッキリになりました。

II班（4名）は先ずE地区斜面のタブノキの除伐。直径30cm程、偏心がありマーキングにも苦慮しましたが、最後はロープも使って狙い通りの方向に倒しました。チェーンソーで玉切りして材処理も行い、周辺のシダ、萌芽枝も刈って作業を終えました。

III班（6名）は広範囲のシダ刈り。C、D地区とF地区の二手に分かれ、どちらも斜面で踏ん張りながらの難儀な作業でしたが、大分刈り取ることが出来ました。F地区の遊歩道沿いではアカマツ実生の発芽に期待を込め地掻きも行いました。またB地区ヤードの整理も行いました。

全域ほぼ傾斜地で安全に留意しながらの作業でしたが、怪我も無く、大勢の参加者で作業が捗りました。

作業終了後に尾根の遊歩道から全域を見渡すと作業前に比べより視界良好となり、生育してきたアカマツ幼木の姿も更に目立つようになっていました。



〈急斜面の作業です。〉



〈見通しが良くなったアカマツ林〉



〈参加メンバーの集合写真です。〉